

近畿厚生局長 殿

開設者名 大阪府枚方市新町2丁目5番1号
学校法人 関西医科大学
理 事 長 山下 敏夫



関西医科大学附属枚方病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	76.25 人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	307 人	23.5 人	330.5 人	看護補助者	14 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	1 人	人	1.0 人	理学療法士	10 人	臨床検査技師	64 人
薬 剤 師	51 人	1 人	51.1 人	作業療法士	4 人	臨床検査衛生検査技師	0 人
保 健 師	0 人	人	人	視能訓練士	7 人	その他	0 人
助 産 師	38 人	人	38.0 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧	0 人
看 護 師	776 人	31 人	798.2 人	臨床工学技士	15 人	医療社会事業従事者	6 人
准看護師	1 人	人	1.0 人	栄 養 士	0 人	その他の技術員	27 人
歯科衛生士	2 人	人	2.0 人	歯 科 技 工 士	0 人	事 務 職 員	80 人
管理栄養士	5 人	5 人	5.8 人	診療放射線技師	37 人	その他の職員	1 人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1 日 当 たり 平 均 入 院 患 者 数	645.7 人	0.0 人	645.7 人
1 日 当 たり 平 均 外 来 患 者 数	1,769.0 人	0.0 人	1,769.0 人
1 日 当 たり 平 均 調 剤 数	802.10 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	98人	・膿疱性乾癬	4人
・多発性硬化症	5人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	19人	・原発性胆汁性肝硬変	131人
・全身性エリテマトーデス	320人	・重症急性膵炎	26人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	97人
・再生不良性貧血	62人	・混合性結合組織病	39人
・サルコイドーシス	112人	・原発性免疫不全症候群	3人
・筋萎縮性側索硬化症	4人	・特発性間質性肺炎	25人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	205人	・網膜色素変性症	97人
・特発性血小板減少性紫斑病	226人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	38人	・肺動脈性肺高血圧症	49人
・潰瘍性大腸炎	192人	・神経線維腫症	66人
・大動脈炎症候群	30人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	37人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	41人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	6人
・脊髄小脳変性症	8人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	77人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	8人
・悪性関節リウマチ	23人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	49人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	20人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	1人
・後縦靭帯骨化症	90人	・肥大型心筋症	97人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	10人	・ミトコンドリア病	2人
・ウェゲナー肉芽腫症	4人	・リンパ管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	56人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	2人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	4人	・黄色靭帯骨化症	9人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	31人

25

1,733人

24

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

49

702人
2,435人

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元	
インスリンシグナルによる心機能調節機構の解明	塩島 一郎	第二内科	6,500,000	補 委	日本学術振興会 科研費
新生児呼吸窮迫症候群における肺胞上皮Aktシグナルの病態生理学的意義の解明	塩島 一郎	第二内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科研費
姿勢制御の学習能力評価の標準化と運動療法への応用	長谷 公隆	整形外科	3,640,000	補 委	日本学術振興会 科研費
のう胞形成前立腺癌異種移植モデルを用いた前立腺癌分泌蛋白質の発現・機能解析	井上 貴博	泌尿器科	2,730,000	補 委	日本学術振興会 科研費
スフィンゴミエリンKOマウスを用いた自己免疫疾患の発症機序の解明と治療法への応用	岡崎 和一	第三内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科研費
PRO-CTCAE日本語版の開発と普及に関する研究	山本 大悟	外科	130,000	補 委	日本学術振興会 科研費
我が国におけるMetal-on-Metal人工股関節置換術合併症の実態調査研究	飯田 寛和	整形外科	9,100,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
難治性瘵疾患に関する調査研究	岡崎 和一	第三内科	1,400,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	岡崎 和一	第三内科	1,500,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
IgG4関連疾患に関する調査研究	岡崎 和一	第三内科	8,500,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査研究とシームレスなガイドライン作成	濱田 吉則	外科	600,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	高橋 寛二	眼科	3,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
灌流法により採取された骨髄細胞を用いた骨髄内骨髄移植療法:基礎から臨床へ	野村 昌作	第一内科	370,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金

小計
13

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」と記入の上で補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
治癒切除後の再発リスクが高い進行胃がん(スキルス胃がんなど)に対する標準的治療の確立に関する研究	井上 健太郎	外科	400,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
保健指導の導入による脳卒中・心筋梗塞の再発予防効果に関する研究	木村 穰	健康科学科	1,500,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
ウイルス性肝疾患患者の食事・運動療法とアウトカム評価に関する研究	海堀 昌樹	外科	2,000,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
有効なIVR手技の開発と標準化のための多施設共同研究	谷川 昇	放射線科	1,450,000	補委 厚生労働省 がん研究開発費
膵癌における塩酸ゲムシタピンの腫瘍免疫賦活効果の検討	里井 壯平	外科	2,000,000	補委 一般財団法人 藤井節郎記念大阪 基礎医学研究奨励会 平成24年度研究助成金
閉経後乳がんの術後内分泌療法5年終了患者に対する治療終了とアナストロゾール5年延長のランダム化比較試験(N-SAS BC05)	山本 大悟	外科	50,000	補委 財団法人パブリックヘルスリサーチセンター 研究助成金
レトロゾールによる術前内分泌療法が奏効した閉経後乳がん患者に対する術後化学内分泌療法と内分泌単独療法のランダム化比較試験(N-SAS BC06)	山本 大悟	外科	200,000	補委 財団法人パブリックヘルスリサーチセンター 研究助成金
小児の特発性ネフローゼ症候群における制御性T細胞の病因的関与に関する研究	木全 貴久	小児科	500,000	補委 公益財団法人 大阪腎臓バンク 平成24年度腎疾患 研究助成
治癒切除不能な進行・再発胃癌症例におけるHER2の検討ー観察研究ー(JFMC44-1101)	井上 健太郎	外科	80,000	補委 財団法人 がん集学的治療研究 財団研究助成金
治癒切除不能進行・再発大腸癌に対する初回化学療法の治療成績のプール解析による検討	岩本 慈能	外科	520,000	補委 財団法人 パブリックヘルスリ サーチセンター 研究助成金
切除不能進行・再発胃癌症例に対するTS-1の連日投与方法および隔日投与方法のランダム化第2相試験(JFMC43-1003)	井上 健太郎	外科	50,000	補委 財団法人 がん集学的治療研究 財団 研究助成金
切除不能進行膵癌(局所進行又は転移性)に対するTS-1通常投与方法とTS-1隔日投与方法のランダム化第II相試験(膵癌隔日投与方法)	柳本 泰明	外科	40,000	補委 財団法人 パブリックヘルスリ サーチセンター 研究助成金
低酸素・内分泌環境における子宮内膜の血管新生因子の発現調整	神崎 秀陽	産婦人科	1,820,000	補委 日本学術振興会 科研費
				小計 13

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」と記入の上で補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元	
機能性身体症候群における精神生理学的評価と心理的評価を用いた病態の検討	神原 憲治	心療内科	780,000	補 委	日本学術振興会 科研費
モデルマウスを用いた遺伝性腎炎に対する画期的腎再生法の研究	金子 一成	小児科	910,000	補 委	日本学術振興会 科研費
標識アネキシンVを用いた放射線誘導アポトーシスとFDG腫瘍糖代謝能の基礎的検討	河 相吉	放射線科	1,040,000	補 委	日本学術振興会 科研費
マイクロバブルジェネレータカテーテルを用いた高密度炭酸ガスマイクロバブル血管造影	狩谷 秀治	放射線科	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科研費
腹腔鏡手術における鉗子先端作用力計測と剥離技術分析に関する研究	松田 公志	泌尿器科	520,000	補 委	日本学術振興会 科研費
線溶系物質による樹状細胞機能の制御:炎症性疾患に向けた新たな治療コンセプトの提案	伊藤 量基	第一内科	2,730,000	補 委	日本学術振興会 科研費
質量顕微鏡を用いた中枢神経系での内因性ジギタリスの産生分泌機構の解明	吉賀 正亨	臨床検査医学科	2,340,000	補 委	日本学術振興会 科研費
原発性胆汁性肝硬変症の新たなバイオマーカーと免疫療法の検討	吉田 勝紀	第三内科	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科研費
骨髄移植細胞と胸腺上皮細胞間のcell fusionと免疫寛容	神田 晃	耳鼻咽喉科	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科研費
血管内皮細胞由来マイクロパーティクルによるDIC病態早期診断法の研究	野村 昌作	第一内科	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科研費
手術後創部痛の完全克服を目的とした埋め込み式持続鎮痛ゲルの開発	海堀 昌樹	外科	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科研費
自己免疫性肺炎の発症機序とIgG4産生制御に関する免疫学的研究	岡崎 和一	第三内科	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科研費
肥満による左室拡張能と血管内皮機能への影響、およびその運動療法の効果に関する検討	宮坂 陽子	第二内科	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科研費

小計
13

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」と記入の上で補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International journal of general medicine 2012(5):535-540	Effects of pitavastatin on plasminogen activator inhibitor-1 in hyperlipidemic patients.	Nomura S	血液呼吸器膠原病感染症内科
Journal of Medical Case Reports 6(1):310	Effective intravenous immunoglobulin therapy for Churge-Strauss syndrome (allergic granulomatous angitis) complicated by neuropathy of the eighth cranial nerve: a case report.	Yoshio Ozaki	血液呼吸器膠原病感染症内科
Platelets 23(1):81-82	Platelet-derived microparticles cause CD154-dependent activation of dendritic cells.	Nomura S	リウマチ・膠原病科
Thrombosis research 130(3):415-419	TGF β (1) and sCTLA-4 levels are increased in eltrombopag-exposed patients with ITP.	Fujita S	血液呼吸器膠原病感染症内科
日本検査血液学会雑誌 13(3):397-409	血小板関連病態の診断治療 最近の話題 血小板と樹状細胞の免疫クロストーク	伊藤 量基	血液呼吸器膠原病感染症内科
日本検査血液学会雑誌 13(3):381-389	2.ITPの診断・治療に関する最近の話題	野村 昌作	血液呼吸器膠原病感染症内科
日本検査血液学会雑誌 13(2):135-142	ITPの診断と治療-最近の動向-	野村 昌作	血液呼吸器膠原病感染症内科
日本内科学会雑誌 102(1):153-159	DICの診断基準と治療薬の知見	野村 昌作	血液呼吸器膠原病感染症内科
European journal of clinical investigation 42(5):557-563	Urinary liver-type fatty acid-binding protein level as a predictive biomarker of contrast-induced acute kidney injury.	Manabe K	循環器腎内分泌代謝内科
Journal of Medical Ultrasonics 39(3):169-172	Pseudoaneurysm with left-to-right shunt in a patient with myocardial infarction: evaluation by three-dimensional echocardiography.	Maeba H	循環器腎内分泌代謝内科
Journal of cardiology cases 6(3):e70-e74	Atypical morphology and myocardial perfusion of mid-ventricular ballooning: A case report.	Maeba H	循環器腎内分泌代謝内科
Journal of cardiology cases 5(2):e107-e112	Left ventricular apical ballooning syndrome in a patient with infundibular stenosis of the right ventricle: A case report.	Maeba H	循環器腎内分泌代謝内科
Journal of cardiovascular pharmacology 59(6):563-569	Effect of Pioglitazone on Arterial Baroreflex Sensitivity and Sympathetic Nerve Activity in Patients with Acute Myocardial Infarction and Type2 Diabetes Mellitus.	Yokoe H	循環器腎内分泌代謝内科
Pacing and clinical electrophysiology 35(4):e80-e83	Radiofrequency catheter ablation of posterior paraseptal accessory pathway with atresia of the coronary sinus ostium.	Yoshida S	循環器腎内分泌代謝内科
Angiology Frontier 11(4):327-331	私の研究 My Research(第1回) 老化とWntシグナル	塩島 一朗	循環器腎内分泌代謝内科
BIO Clinica 1(1(別冊:慢性炎症と疾患)):14-18	負荷応答と破綻 慢性炎症と心不全	塩島 一朗	循環器腎内分泌代謝内科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原簿論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
月刊糖尿病 4(6):34-41	CT/MRI検査で診断する虚血性心疾患	竹花一哉	循環器腎内分泌代謝内科
呼吸と循環 60(9):978-980	ニフェジピン徐放剤のジェネリック変更後に出現した午前中の低血圧の1症例	高橋広季	循環器腎内分泌代謝内科
最新医学 67(7):1698-1705	心不全-変貌する病態と治療-分子機序とトピックス 慢性心不全の分子機構	塩島 一郎	循環器腎内分泌代謝内科
循環器内科 72(6):616-619	心筋の再生	塩島 一郎	循環器腎内分泌代謝内科
診療と新薬 49:221	炎症と老化	塩島 一郎	循環器腎内分泌代謝内科
日本老年医学会雑誌 49(3):276-280	老年医学の展望 Wntシグナルによる老化制御	塩島 一郎	循環器腎内分泌代謝内科
Journal of Cardiology Cases 7:e27-e28	Takotsubo cardiomyopathy associated with serotonin syndrome: A disease that we should be aware of	Miyasaka Y	循環器腎内分泌代謝内科
Annual Review腎臓 2013:212-218	Clinical nephrology 尿細管・間質障害 造影剤腎症のバイオマーカー	眞鍋 憲市	循環器腎内分泌代謝内科
CIRCULATION Up-to- Date 8(増刊):58-60	心血管疾患の診断に用いられる画像検査の基礎知識 分子生物学的検査の基礎知識	塩島 一郎	循環器腎内分泌代謝内科
医学のあゆみ 244(12):1064-1065	加齢医学 Wntシグナルと加齢	塩島 一郎	循環器腎内分泌代謝内科
診断と治療 101(1):99-103	狭心症に対する薬物療法	前羽 宏史	循環器腎内分泌代謝内科
日本老年医学会雑誌 50(2):227-232	高齢患者における造影剤腎症の検討	元廣 将之	循環器腎内分泌代謝内科
Internal medicine 51(7):733-737	Autoimmune pancreatitis with histologically proven lymphoplasmacytic sclerosing pancreatitis with granulocytic epithelial lesions.	Ikeura T	消化器肝臓内科
Internal medicine 51(19):2749-2752	Dilatation of the Bile and Pancreatic Ducts due to Compression by an Unruptured Abdominal Aortic Aneurysm (AAA): A Case Ameliorated by an Endovascular Stent Grafting.	Fukui T	消化器肝臓内科
Pancreas 41(8):1341-1342	The Amendment of the Clinical Diagnostic Criteria in Japan(JPS2011)in Response to the Proposal of the International Consensus of Diagnostic Criteria (ICDC)for Autoimmune Pancreatitis.	Kazuichi Okazaki	消化器肝臓内科
Pancreas 41(8):1255-1262	Comparative Study on Experimental Autoimmune Pancreatitis and Its Extrapancreatic Involvement in Mice.	Yamashina M	消化器肝臓内科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
G.I.Research 20(3):219-222	ゲノムワイド関連解析からみえてきた消化器疾患 IgG4関連疾患の感受性遺伝子探索の現状と今後の展開	岡崎和一	消化器肝臓内科
IBD Research 6(4):212-219	IBDとリンパ増殖性疾患	岡崎 和一	消化器肝臓内科
Intestine 16(3):275-281	クローン病のTherapeutic Strategy-mucosal healingは治療のゴールか クローン病治療戦略-どのような患者に用いるか(7)今後の新規治療	岡崎和一	消化器肝臓内科
Medical Technology 40(8):883-887	珍しいが知っておきたい疾患File-生理検査編 File1 自己免疫性膵炎	岡崎和一	消化器肝臓内科
胃と腸 47(10):1559-1565	全身性合併症の特徴 膵炎	岡崎和一	消化器肝臓内科
肝胆膵治療研究会誌 10(1):5-13	自己免疫性膵炎の最近の話題	岡崎和一	消化器肝臓内科
最新医学 67(4):902-909	IgG4関連疾患-21世紀に生まれた新たな疾患概念-臓器別IgG4関連疾患 IgG4関連疾患の発見から現在にかけて	岡崎和一	消化器肝臓内科
最新医学 67(4):887-901	IgG4関連疾患発見の意義と世界に与えるインパクト	岡崎和一	消化器肝臓内科
最新医学・別冊 新しい 診断と治療のABC71 108-115	胆石症・胆道炎・胆道がん 第3章 硬化性胆管炎(原発性硬化性胆管炎・IgG4関連硬化性胆管炎)概念・定義と疫学	岡崎和一	消化器肝臓内科
消化器医学 10:20-26	術後再建腸管を有する胆膵疾患例に対してダブルバルーン内視鏡を用いた内視鏡治療の新展開	島谷 昌明	消化器肝臓内科
消化器内科 55(4):506-510	重症度判定基準の改定に伴う急性膵炎診療の変化	池浦司	消化器肝臓内科
消化器内科 54(5):534-539	小腸潰瘍性病変の的確な診断と概念の確立 小腸潰瘍性病変における内視鏡と放射線学的検査の比較を通じた診断アルゴリズム	若松隆宏	消化器肝臓内科
消化器内視鏡 24(6):1061-1068	バルーン内視鏡のすべて [ERCPへの応用→術後例,再建例]ダブルバルーン内視鏡	島谷昌明	消化器肝臓内科
消化器内視鏡ハンドブック 401-409	術後再建腸管を有する胆膵疾患のERCPと処置	島谷昌明	消化器肝臓内科
胆と膵 33(臨増特大): 1029-1034	マスターによるテクニックの解説とビデオライブデモ Roux-en Y再建術後の総胆管結石症例に対するダブルバルーン内視鏡を用いたERCP	島谷 昌明	消化器肝臓内科
胆膵の病態生理 28(1):41-44	カプサイシンによる除神経がDBTC誘発ラット膵炎に及ぼす影響	池浦司	消化器肝臓内科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原簿論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
内科 109(6):1241-1245	知っておきたい内科症候群 VI. 肝・胆・膵(胆嚢・胆管・膵) 6.IgG4関連疾患/自己免疫性肝胆膵疾患	岡崎和一	消化器肝臓内科
日本医師会雑誌 141(特別号2): S310-S311	消化器疾患の診断と治療 胆・膵 自己免疫性膵炎	岡崎和一	消化器肝臓内科
Endoscopy 45(3):229	Handcrafted two-channel colonoscope for grasping forceps-assisted resection of large pedunculated polyps in the sigmoid colon.	Matsushita M	消化器肝臓内科
Journal of gastroenterology 48(3):303-314	Current concept and diagnosis of IgG4-related disease in the hepato-bilio-pancreatic system.	Okazaki K	消化器肝臓内科
消化器内科 56(1):7-13	高齢者におけるカプセル内視鏡を通じた小腸検査のあり方	若松隆宏	消化器肝臓内科
バイオフィードバック研究 39(2):90-96	BF講座 医学系 心身症及び機能性疾患群の病態と心療内科におけるバイオフィードバック	神原 憲治	心療内科
日本心療内科学会誌 16(4):221-226	慢性疼痛、線維筋痛症の心身医療 慢性疼痛患者の改善度予測と並行して変動する痛み指標の検討	水野 泰行	心療内科
Clinica chimica acta 413(23-24):1822-1826	Measurement of Urinary 8-oxo-7,8-dihydro-2-deoxyguanosine in a Novel Point-of-Care Testing Device to Assess Oxidative Stress in Children.	Kaneko K	小児科
Clinical and experimental nephrology 16(3):411-414	Serum albumin level accurately reflects antioxidant potentials in idiopathic nephrotic syndrome.	Kaneko K	小児科
Journal of pediatric hematology/oncology 34(7):500-502	Increased Production of Nitric Oxide by Phagocytic Stimulated Neutrophils in Patients With Chronic Granulomatous Disease.	Tsuji S	小児科
Pediatric cardiology 33(7):1086-1088	Intravenous Immunoglobulin Counteracts Oxidative Stress in Kawasaki Disease.	Kaneko K	小児科
Pediatric nephrology 27(4):605-609	Increased urinary calcium excretion caused by ceftriaxone: possible association with urolithiasis.	Kimata T	小児科
Pediatric nephrology 27(11):2149-2152	Methicillin-resistant Staphylococcus aureus-related glomerulonephritis in a child.	Kimata T	小児科
Pediatrics international 54(2):313	Abdominal pain in Henoch-Schönlein purpura and its association with SMA syndrome	Fujii Y	小児科
The Tohoku journal of experimental medicine 228(4):301-304	Surgical repair of left ventricular noncompaction in a patient with a novel mutation of the Myosin heavy chain 7 gene.	Uchiyama T	小児科
The Tohoku journal of experimental medicine 228(3):247-252	Production of nitric oxide is lower in shiga toxin-stimulated neutrophils of infants compared to those of children or adults.	Tsuji S	小児科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原簿論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
小児保健研究 71(5):709-714	学校検尿制度の効率的運用に関する検討 大阪府下ベッドタウンにおける試み	山内 壮作	小児科
日本小児腎臓病学会雑誌 25(1):27-33	小児難治性ネフローゼ症候群に対するリツキシマブの反復投与方法	木全貴久	小児科
Journal of pediatric hematology/oncology 2012Epub ahead of print	Alternating Syndrome of Inappropriate Secretion of Antidiuretic Hormone and Cerebral Salt Wasting in an Infant With Brain Tumor.	Kaneko K	小児科
American journal of surgery 204(3):300-307	Clinicopathologic characteristics of patients with non-B non-C hepatitis virus hepatocellular carcinoma after hepatectomy.	Kaibori M	外科
The American surgeon 78(11):1228-1231	Absence of cystic duct leakage using locking clips in 1017 cases of laparoscopic cholecystectomy.	Matsui Y	外科
Digestive diseases and sciences 57(5):1404-1412	A Prospective Randomized Controlled Trial of Preoperative Whole-Liver Chemolipiodolization for Hepatocellular Carcinoma.	Kaibori M	外科
Journal of gastrointestinal surgery 16(4):784-792	Neo-adjuvant Chemoradiation Therapy Using S-1 Followed by Surgical Resection in Patients with Pancreatic Cancer.	Satoi S	外科
Journal of gastrointestinal surgery 16(10):1840-1846	Ultrasonic Scalpel for Gastric Cancer Surgery: a Prospective Randomized Study.	Inoue K	外科
The Journal of surgical research 173(2):299-308	Circulating Myeloid Dendritic Cells as Prognostic Factors in Patients with Pancreatic Cancer Who Have Undergone Surgical Resection.	Yamamoto T	外科
Open,Laparoscopic and Robotic Hepatic Transection 3-11 springer	Open hepatic transection using microwave tissue coagulation	Satoi S	外科
OncoTargets and therapy 2012(5):185-189	Bevacizumab in the treatment of five patients with breast cancer and brain metastases: Japan Breast Cancer Research Network-07 trial.	Yamamoto D	外科
Pancreas 41(3):409-415	Circulating CD4+CD25+ Regulatory T Cells in Patients With Pancreatic Cancer.	Yamamoto T	外科
Pediatric surgery international 28(11):1133-1136	Temporary umbilical loop colostomy for anorectal malformations.	Hamada Y	外科
Surgery today 42(7):666-669	Primary squamous cell carcinoma in the gastric remnant.	Tokuhara K	外科
Transplantation proceedings 44(4):1107-1109	Stimulation of Liver Regeneration After Hepatectomy in Mice by Injection of Bone Marrow Mesenchymal Stem Cells via the Portal Vein.	Kaibori M	外科
World journal of surgical oncology 10:Article No.201	The utility of hyperthermia for local recurrence of breast cancer.	Yamamoto D	外科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原簿論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Expert Nurse 28(14):80-85	小腸・結腸の手術 結腸切除術(腹腔鏡下手術)	岩本 慈能	外科
Pancreas 2012;41:333-5	Long-term results of surgical resection after preoperative chemoradiation in patients with pancreatic cancer.	Satoi S	外科
Eur J Surg Oncol 2012;38:143-9	Phase II trial of preoperative S-1 plus cisplatin followed by surgery for initially unresectable locally advanced gastric cancer.	Inoue K	外科
Transplant proc. 2012;44:344-346	Change in donor quality of life after living donor liver transplantation surgery:a single-institution experience.	Ishizaki M	外科
Langenbecks Arch Surg 2012;397:373-81	Predictors and outcome of early recurrence after resection of hepatic metastases from colorectal cancer.	Kaibori M	外科
Breast Cancer:Targets and Therapy 2012;4:125-129	Five-year follow-up of treatment outcomes in patients with early-stage breast cancer and clinically negative axillary nodes treated with no lymph node dissection or axillary clearance.	Yamamoto D	外科
World J Surg Oncol 2012,10:6	Simultaneous development of adenocarcinoma and gastrointestinal stromal tumor(GIST)in the stomach:case report.	Yamamoto D	外科
Hepatology Research, 2012doi:10.1111/ hepr.12017	Fluvastatin inhibits the induction of inducible nitric oxide synthase,an inflammatory biomarker,in hepatocytes.	Tokuhara K	外科
Interactive cardiovascular and thoracic surgery 14(4):627-632	Lesions in patients with multifocal adenocarcinoma are more frequently in the right upper lobes.	Kaneda H	胸部心臓血管外科
守口市医師会 会報 99(6):158-162	肺がん 最近の診断と治療	齊藤 幸人	胸部心臓血管外科
Interactive cardiovascular and thoracic surgery 16(2):186-192	Three-step management of pneumothorax: time for a re-think on initial management.	Kaneda H	胸部心臓血管外科
呼吸 32(3):266-271	ピットフォール 縦隔内甲状腺腫	齊藤 幸人	胸部心臓血管外科
脳血管攣縮 28:37-41	くも膜下出血後患者におけるFMD、NMD、PWVを用いた血管評価とspasmとの関連性について	大重 英行	脳神経外科
脳血管攣縮 27:78-84	スバズム研究の最前線モニタリング編 くも膜下出血例(SAH)における連続心拍出量測定装置(PiCCO)を用いた部位別spasm発生因子の検討 正中typeと外側typeの解析	大重 英行	脳神経外科
Brain Tumor Pathology 29:63-67	A case of metastatic brain tumor causing multifocal cerebral embolism.	Takuya Kawaguchi	脳神経外科
JOSKAS 37(2):302-303	外傷性膝関節脱臼の治療経験	小津 敏	整形外科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
JOSKAS 37(2):212-213	人工膝関節置換術後の患者の運動およびスポーツ活動についての検討	村田実	整形外科
Journal of Spine Research 3(7):1079-1082	脊髄腔造影および神経根ブロック時の臨床研修医の放射線被曝線量の検討	池浦淳	整形外科
中部日本整形外科災害 外科学会雑誌 55(6):1323-1324	腰椎後方固定術後深部感染症例のインプラント除去時期の検討	串田 剛俊	整形外科
中部日本整形外科災害 外科学会雑誌 55(6):1301-1302	東日本大震災後の震災支援医師として被災地での診療業務の報告	岩宮 裕章	整形外科
中部日本整形外科災害 外科学会雑誌 55(5):1131-1132	脊椎疾患による慢性疼痛に対する ترامセト配合錠の使用経験	池浦 淳	整形外科
中部日本整形外科災害 外科学会雑誌 55(3):653-654	環椎後弓外側塊の低形成のため環椎外側塊screwの刺入に難渋した1例	池浦 淳	整形外科
日本人工関節学会誌 42:523-524	DVT 人工股関節置換術後のエドキサバンとフォンダパリヌクスの有効性と安全性の比較検討	和田 孝彦	整形外科
日本人工関節学会誌 42:481-482	ステム周囲骨評価 Triple taper polished stem周囲の骨量変化の検討	和田 孝彦	整形外科
日本人工関節学会誌 42:453-454	セメントTHA術後成績 Curved triple taper polished stem(SC-Stem)の中期成績	和田 孝彦	整形外科
中部日本整形外科災害 外科学会誌 55(2):361-362	腰椎変性すべり症における椎弓根径ならびに椎体-椎間関節傾斜角の3D-CTを用いた評価	岩宮 裕章	整形外科
形成外科 55:S340-S344	研修医・外科系医師が知っておくべき 形成外科の基本知識と手技 傷跡・瘢痕拘縮治療の理論と実際 5)組織拡張器(ティッシュ・エキスパンダー)の適応と使用	楠本 健司	形成外科
瘢痕・ケロイド治療ジャーナル (6):66-68	当院開院から現在までのケロイド135症例の検討	田中義人	形成外科
日本医事新報 (4626):65-68	多血小板血漿(PRP)と褥瘡、難治性皮膚潰瘍の治療	楠本健司	形成外科
Skin Cancer 27(1):93-97	ドセタキセルによるneoadjuvant chemotherapyによって血清CEA値の著明な低下を認めた乳房外Paget病の1例	大橋苑子	皮膚科
Skin Surgery 21(3):122-126	腋窩に生じた壊死性筋膜炎(非clostridium性ガス壊疽)の1例	大橋 苑子	皮膚科
皮膚科の臨床 54(9):1255-1258	踵部外側にドーム状紅色腫瘤を生じた慢性滑液包炎の1例	楠山 太郎	皮膚科

小計
16

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原簿論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
皮膚科の臨床 54(6):890-893	指趾に生じた基底細胞癌の2例	大橋苑子	皮膚科
臨床看護 38(7):975-977	夏場の救急傷病 初期対応とケア 概説と事例,初期対応とケア	上尾礼子	皮膚科
皮膚病診療 35(1):8-14	サルコイドーシスの検査マーカー	岡本 祐之	皮膚科
Journal of Endourology 26(11):1506-1511	Positive Correlation between Motion Analysis Data on the LapMentorTM Virtual Reality Laparoscopic Surgical Simulator and the Results from Video Tape Assessment of Real Laparoscopic Surgeries.	Matsuda T	腎泌尿器外科
World journal of surgical oncology 10:Article No.167	Two cases of gastrointestinal perforation after radiotherapy in patients receiving tyrosine kinase inhibitor for advanced renal cell carcinoma.	Inoue T	腎泌尿器外科
Japanese Journal of Endourology 25(2):341-345	腎盂尿管腫瘍に対する腹腔鏡手術と開腹手術についての臨床的検討	杉 素彦	腎泌尿器外科
日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 29(1):31-38	副腎髄質腫瘍に対する外科	滝澤奈恵	腎泌尿器外科
Clinical ophthalmology 6:1823-1825	Decalcified choroidal osteoma found in the retina.	Yoshikawa T	眼科
Japanese journal of ophthalmology 56(5):453-457	Clinical and histopathological features of a suspected case of fish-eye disease.	Tateno H	眼科
Journal of Neurochemistry 122(5):1047-53	Long-term expression of glial cell line-derived neurotrophic factor slows, but does not stop retinal degeneration in a model of retinitis pigmentosa.	Ohnaka M	眼科
眼科手術 25(3):333-336	強度近視と網脈絡膜疾患 近視と脈絡膜新生血管	永井 由巳	眼科
日本眼科学会雑誌 116(12):1150-1155	加齢黄斑変性の治療指針	高橋 寛二	眼科
日本眼科学会雑誌 116(10):993-1016	日本眼科学会専門医制度生涯教育講座[総説52]加齢黄斑変性の病態と治療戦略	高橋 寛二	眼科
Acta oto-laryngologica 132(7):693-701	Characterization of side population (SP) cells in murine cochlear nucleus.	Ooka H	耳鼻咽喉科
経済産業省医療・福祉機器 医療機器開発ガイドライン策定事業 1-58	医療機器開発ガイドライン策定事業 15. トレーニングシステム	友田 幸一	耳鼻咽喉科
アレルギーの臨床 (428):336-340	アレルギー性鼻炎治療における各種薬剤の位置づけ 6)アレルギー性鼻炎における経口ステロイド薬の位置づけ	朝子幹也	耳鼻咽喉科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原簿論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
口腔・咽喉科 25(2):183-189	鼻治療の工夫と術後biPAPが周術期管理に有用であった睡眠時無呼吸症候群の1例	大岡 久司	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 84(6):346-350	耳鼻咽喉科手術におけるナビゲーションとモニタリング ナビゲーションとモニタリング総論	友田 幸一	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望 55(5):392-399	耳鼻咽喉科ナビゲーション手術の現状 2011年全国アンケート調査結果報告	友田 幸一	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望 55(5):389-391	当科におけるhydrodebriderの使用経験	朝子 幹也	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望 55(5):348-352	副鼻腔モデルを使った鼻内内視鏡手術履修プログラム作成の試み	村田 英之	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望 55(5):329-331	ハイブリッド型ナビゲーションシステムステルスステーションS7の使用経験	馬場 一泰	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科免疫アレルギー 30(3):251-257	免疫アレルギー学の最前線 好酸球増多を伴う気道炎症とIFN- γ によるTh1/Th2制御	神田 晃	耳鼻咽喉科
日本気管食道科学会会報 63(4):291-298	声帯ポリープの臨床統計	宮本 真	耳鼻咽喉科
医薬ジャーナル 49(1):113-119	特集 アレルギー疾患治療の最前線 8. 光線療法	朝子 幹也	耳鼻咽喉科
J Immunother. 35:23-31	BID is a critical factor controlling cell viability regulated by IFN- α .	Tsuno T	放射線科
Minimally invasive therapy & allied technologies 21(6):415-422	Analysis of factors influencing accuracy and complications in CT-guided lung biopsy.	Nakatani M	放射線科
核医学症例検討会症例集 33:9-10	FDG-PET/CTにて診断困難であった脾漿液性嚢胞腺腫の1例	河 相吉	放射線科
核医学症例検討会症例集 32:45-46	生体肝移植後の門脈閉塞の検出にアシアロシンチが有用であった1例	河 相吉	放射線科
財団法人大阪から肺がんをなくす会会報 (48):5-7	肺腫瘍に対するラジオ波凝固療法の有用性に関する研究	谷川 昇	放射線科
IVR: Interventional Radiology 28(1):74-77	経皮的椎体形成術の現況と治療成績	谷川 昇	放射線科
HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY 19(2):187-189	ホルモンQ&A 若年の未婚女性で強い月経痛があり、小さな卵巣チョコレート嚢胞がある場合の薬物治療の原則を教えてください	神崎秀陽	産婦人科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原簿論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY 19(2):186-187	ホルモンQ&A 月経困難症の治療薬(EP配合薬)が発売されていますが、特徴を教えてください。特に、子宮内膜症と推定されている患者さんに投与する場合の注意点はありますか?	神崎秀陽	産婦人科
産婦人科の進歩 64(2):157-161	ARTにおける卵巣刺激の基本知識	岡田英孝	産婦人科
臨床婦人科産科 66(10):816-821	子宮内膜症薬物療法の歴史的推移	神崎秀陽	産婦人科
麻酔 61(9):1003-1005	疼痛コントロールが困難であった術後神経障害性疼痛にミルタザピンが有効であった1症例	増澤 宗洋	麻酔科
日本集中治療医学会雑誌 19(4):603-608	敗血症性disseminated intravascular coagulation(DIC)におけるリコンビナントトロンボモジュリンとダナパロイドナトリウムの臨床効果について	梅垣岳志	麻酔科
日本集中治療医学会雑誌 20(1):34-37	妊娠を契機にして発症した血栓性血小板減少性紫斑病(thrombotic thrombocytopenic purpura, TTP)の1症例	岡本 明久	麻酔科
Medical molecular morphology 45(4):234-237	A renal epithelioid angiomylipoma/perivascular epithelioid cell tumor with TFE3 gene break visualized by FISH.	Ohe C	臨床検査医学科
Medical molecular morphology 45(2):98-104	Utility of immunohistochemical analysis of KAI1, epithelial-specific antigen, and epithelial-related antigen for distinction of chromophobe renal cell carcinoma, an eosinophilic variant from renal oncocytoma.	Ohe C	臨床検査医学科
日本医師会雑誌 141(9):1916	禁煙のバイオマーカー	高橋伯夫	臨床検査医学科
日本血栓止血学会誌 23(5):506-511	診断・治療・技術講座 止血系検査を用いたコンサルテーションの実際 ルーチン検査に院内実施のADAMTS13、HIT抗体などを加え	小宮山 豊	臨床検査医学科
重症集中ケア 11(1):78-82	ショック時輸液	波柴 耐充	救急医学科
重症集中ケア 11(1):72-77	周術期輸液	中嶋 麻里	救急医学科
日本救命医療学会雑誌 (26):19-23	出血性合併症を繰り返した重症急性膵炎の1例	高橋 弘毅	救急医学科
PROGRESS IN MEDICINE 33(1):143- 145	特発性食道破裂の1例	櫻本 和人	救急医学科
急性・重症患者ケア 2(1):193-203	肝不全患者の輸液管理と体液ケアを行う	高橋 弘毅	救急医学科

小計
15計
159

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入力すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を入力すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 澤田 敏
管理担当者氏名	事務部長 竹林俊雄、看護部長 安田照美、薬剤部 廣田育彦

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		管理課、各診療科、薬剤部、手術部、各病棟、臨床検査部、放射線部、病歴情報課、地域医療連携部	保管部署で管理	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	管理課	/	
	高度の医療の実績	各診療科		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科		
	高度の医療の研修の実績	各診療科		
	閲覧実績	病歴情報課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療連携部		
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部		
	項規 第則 第一 第一 号に 掲げ る一 体第 一項 各号 の状 及び 第九 条の 二十 三第 一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有	/
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	38回	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	29回	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		有		
専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		有 (3名)		
専任の院内感染対策を行う者の配置状況		有 (5名)		
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		有		
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		有		

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	有
		院内感染対策のための委員会の開催状況	有12回
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	有14回
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	有
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	有
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	有
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	有
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	有143回
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	有
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	有

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 澤田 敏
閲覧担当者氏名	管理課長 杉上 弘之 医事課長 山本 和彦 医療情報部病歴情報課課長 田中 裕子
閲覧の求めに応じる場所	1階 情報ライブラリー室

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	80.1 %	算定期間	平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	20,410人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	15,328人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	998人	
	D: 初診の患者の数	30,507人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	① (有) ・ 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>1) 医療安全管理のための基本方針 2) 医療安全管理のための委員会その他の組織に関する規程 3) 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針 4) 医療事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5) 医療事故発生時の対応に関する基本方針 6) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 (患者等に対する当指針の閲覧に関する基本方針を含む) 7) 患者からの相談への対応に関する基本方針 8) その他医療安全の推進のための必要な基本方針</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 38 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>1) 医療安全管理対策委員会 (12回) 医療安全に関する全体の統括を行い、医療事故防止の検討と実行を行う。 2) 医療事故対応委員会 (15回) 医療にかかる事故が発生した場合に医療事故対応方針等を緊急に審議し、迅速に対応し処理することを目的とする。 3) セーフティマネージャ委員会 (11回) 医療安全管理部と連携して、インシデント事例の把握と改善策を検討し、それらを職員に周知徹底する。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 29 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>別紙①参照</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ((有) ・ 無)</p> <p>1) 電子化入力運用を行っており、第一報は全職員、第二報通知は、セーフティマネージャーがそれぞれ入力を行っている。 2) 事故報告等の目的は、「個人を罰する事でなく事故の再発防止に活用する事である」と定めている。 3) 報告すべき事項は、療養指導から院内給食関連のものまで29項目である。 4) 報告先は、セーフティマネージャー、所属部門の部長を経て、医療安全管理部、病院長である。緊急を要する場合は直接病院長へ報告し指示を受けて対処する。 5) 医療安全管理部は、報告を受けて速やかに内容を把握し、当該のセーフティマネージャーと分析し、対策を講じる。</p>	
<p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p><安全研修> 1) 医療安全研修ならびにDVD上映会 2) セーフティマネージャー会研修 3) 技術教育 (超音波装置を使用した中心静脈穿刺について、刺股警戒杖の取扱い) 4) 中途入職者への医療安全に関するオリエンテーション 5) セーフティマネージャー会への研修医の出席 6) 「マンスリーレポート」、「医療安全情報」 <情報システムの活用> 1) ラーニングシステムによる講演会の配信 2) ホームページの掲載 <安全巡回> 1) テーマに沿った計画的な医療安全管理者による巡回 2) 医療事故発生時、発生部署、関連部署へのラウンド 3) 私立医科大学病院相互ラウンド <改善の為の取り組み> 1) 医療安全管理マニュアル、ポケットマニュアルを一部改訂した。 2) 医療安全講習会を計画的に行い、寸劇やビデオを取り入れ客観的に医療安全が伝わるようにしている。 3) 医療事故防止策は、セーフティマネージャーが中心となり、時系列と必要に応じてRCAにて分析し、背景要因を明らかにすることで立案している。</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	⑤ (有) (3 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	⑥ (有) (5 名) ・ 無

(様式第13-2)

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	① 有 ・ 無
・ 所属職員： 専任(7)名 兼任(9)名 ・ 活動の主な内容： 1) 安全管理部門の業務に関する企画立案及び評価を行う。 2) 定期的に院内を巡回し各部門における医療安全対策の実施状況を把握・分析し、医療安全確保のために必要な業務改善等の具体的な対策を推進する。 3) 各部門における医療事故防止担当者への支援を行う。 4) 医療安全対策の体制確保のための各部門との調整を行う。 5) 医療安全対策に係る体制を確保するための職員研修の企画・実施する。 6) 相談窓口等の担当者と密接な連携を図り、医療安全対策に係る患者・家族の相談に適切に応じる体制を支援する。	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じられる体制の確保状況	① 有 ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	① (有) ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： 別紙②参照 	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ MRSAおよび多剤耐性菌の検出状況把握と対策 ・ 抗菌薬の使用状況調査と感受性の推移調査 ・ 抗菌薬使用報告書、TDM等の抗菌薬適正使用状況調査 ・ 院内感染発症時の対応、対策 ・ 感染対策研修会の企画および開催 ・ 院内ラウンド・サーベイランスの実施 ・ 血液培養陽性症例ラウンドの実施 ・ 針刺し事故の発生状況と事故防止対策の検討 ・ 職員のワクチンプログラムの作成・実施 ・ 感染防止対策地域連携 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 14 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 別紙③参照 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 ((有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ ICTラウンドによる情報共有と改善 ・ 手指消毒剤の使用量調査・携帯式手指消毒剤の使用部署拡大 ・ 安全器材の導入 ・ 血液培養陽性症例ラウンド ・ マニュアルの改訂 ・ 定期的な感染対策研修会の実施 ・ リンクナース教育 ・ 医師への研修会開催 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	① 有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 前年度 安全なステロイドの使い方を知ろう！ (別紙④) 今年度 平成26年2月20日 (木) (予定) テーマ (未定) 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 ((有) ・ 無) 「医薬品の安全使用のための業務に関する手順書」遵守に関する記録 (別紙⑤) ・ 業務の主な内容： 医薬品の採用、医薬品の購入、調剤室における医薬品の管理、病棟・各部門への医薬品の供給、外来患者への医薬品使用、病棟における医薬品の管理、入院患者への医薬品使用、医薬品情報の収集・管理・提供、持参薬管理に関する事項、医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項、他施設との連携に関する事項 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ((有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 厚生労働省から発出される医薬品・医療機器等安全性情報、緊急安全性情報、製薬企業から発出される安全性速報、適正使用情報、添付文書改訂情報等の国内情報に加え、海外規制機関から発出される医薬品安全性情報等の収集を行い、院内イントラネットの電子メール使用者すべてに電子メールを発信し、知り得た情報の周知を図っている。(別紙⑥) 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 143 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 別紙⑦参照 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の作成 (○有 ・ 無) ・ 保守点検の主な内容： 別紙⑧参照 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： メーカーや厚生労働省から発信される医療機器安全情報を医療機器安全管理担当者、株式会社MCヘルスケアが収集する。当院に設置（使用）や関係しているものに医用工学センター及び医療機器安全管理責任者が書面にて連絡を受け、内容を吟味検討した上で、関連部署や職員に向けて書面やメールで情報発信を行っている。医療機器安全管理責任者は月1回行われる医療安全対策委員会に出席し、適宜情報交換を行っている。医療機器安全管理担当者は医療安全部と連携を強化し、必要時には病棟への医療機器院内ラウンドも行う。また、2013年4月より医用工学センターのHPを立上げ、医療機器安全情報を随時UPしている。 	